科目番号	52011	分類	助産診断技術学	履修者	高度実践助産コース	学年
科目名	分娩期診断・技術学 （Intrapartum care）					1 配当ｾﾒｽﾀｰ 通年
担当者	○渡邊 香　他１名	区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位 1	時間数 15

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概　要】 分娩期にある女性の生理的プロセスと生理的状態からの逸脱を診断するために必要な知識、科学的根拠に基づいた分娩介助法と助産ケアとこれを実践するための知識を習得する。分娩期の女性の心理的変化について学び、女性に寄り添う助産実践について探求する能力を養う。分娩期の女性と胎児の異常とその原因・要因、治療、管理について学び、その援助および予防に向けた助産ケアの実践について考える力を養う。 【目　標】 1．分娩期における女性と胎児の生理的なプロセスと生理的状態からの逸脱について説明できる。 2．産婦の健康状態、正常な分娩経過と正常からの逸脱について根拠をもって診断することができる。 3．科学的根拠に基づいた分娩介助法と助産ケアについて説明できる。 4．女性に寄り添う助産実践や分娩期における助産師の役割について考察できる。	○	1.自律して自然分娩の支援ができる能力
	○	2.院内・院外助産システムを担うことができる能力
	○	3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力
	○	4.周産期の救急時に対応できる能力
	○	5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力
		6.研究・開発能力
	○	7.倫理的意思決定能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第１回	ガイダンス、分娩期の助産診断（４要素と経過診断）	渡邊 他１名
第2回	分娩経過（正常編）①	
第3回	分娩経過（正常編）②	
第４回	分娩期の助産診断（分娩による母児の変化）	
第５回	分娩経過（異常編①）	
第6回	分娩経過（異常編②）	
第7回	分娩期の助産診断（異常産婦の管理とケア①）	
第8回	分娩期の助産診断（異常産婦の管理とケア②）	

事前・事後学習	事前学習：教科書の該当する箇所の予習を行うこと。事後学習：配布資料を復習する。
評価の方法	筆記試験（100%）
参考図書・資料等	◎助産学講座７ 助産診断・技術学Ⅱ⑵分娩期・産褥期 第７版 松崎政代他　医学書院 ◎プリンシプル産婦人科学２　産科編　第３版　武谷雄二監修　メジカルビュー社 ・産婦人科診療ガイドライン産科編 2023 日本産婦人科学会編　日本産婦人科学会 ・病気がみえる　産科　vol10　第４版　医療情報科学研究所 ・助産師基礎教育テキスト　第５巻　分娩期の診断とケア　2024 日本看護協会出版 ・今日の助産　改訂第４版　北川　眞理子　南江堂 参考図書は適宜紹介する。 ◎は授業の必携図書のため購入を必要とする。
備　　考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 *講義内容の順番については変更あり。 フィードバックは適宜行う。